

ナドリ倶楽部主催 「日韓学生セミナー」報告(1)

新羅大学院特別教授 藤井茂利

「日韓学生セミナー」を今年から日韓交流博多会(通称ナドリ倶楽部)が主催することになった。「ナドリ」とは韓国語で「外出」と言う意味である。韓国が好きと言う人が集まって'89年二月に設立した会で韓国との民間交流団体としては福岡では一番古い歴史がある。講演会・韓国へのツアー・日本語教室など韓国との交流に力を注いできた。

この会の会員約80名は比較的壮年層の方が多い。これがこの会の活動の源になっているのは確かなことであるが、何十年か先の会の活動を考えれば会が若者達との接触をしなければならぬと考える。かつて学生会員の制度が提案され検討したことがあったが実現しなかった。その理由は福岡市近辺在住の学生は外の地域からの者が多く、春、夏の長い休暇の時は活動に参加出来ない可能性が強い。更に数年後には就職して福岡にい

施するに当たって水内氏は、若者達が近くて遠い国である韓国を、そして日韓の歴史を自ら理解するために考え始める、そのきっかけをつくってやれないか。事実を確認し、理解し合った上でこそ、真の21世紀の日韓交流がある。

と述べているが、この主旨に納得することが多いように思われ、請われるまま「日韓学生セミナー」の旅行団の団長となって学生と共に渡韓し、日韓の学生が共通すると思われる研究課題について講義することにしてきた。

参加する学生は下関市立大学、東亜大学、北九州大学、福岡大学、西南学院大学、活水女子大学と広範囲の大学の学生が、或る年は70名を超え、バスも二台に分乗するという状態であった。韓国側の学生も多くこのイベントに参加した。この学生の中にはこれを契機に韓国・韓国語に興味を持つようになり、自学研修を重ね、これが認められ放送関係の職を得て現在アナウンサーとして活躍している者もいる。

八年間続き、外務省の外郭団体の「日韓文化交流基金」から助成金も得ていたが主宰の水内氏が読売新聞社の要職に就かれてからこのイベントには手が回らず助成金も得られなくなった事とも重なり中止されることになった。

日本の学生の中には韓国に関心を持っているものが非常に多い。韓国の学生との交流も希望している。最近では廉価な韓国向けの団体ツアーが旅行会社によって計画され参加者が多いが、日本の学生が希望している内容とは程遠い。

そこで、今回ナドリ倶楽部では学生と接触を計る考えから「日韓学生セミナー」を受け継ぐことを考えた。次年度の計画を審議する三月の総会にこの計画を提案した。新しい企画がこの外に一件「韓国の有志学生に日本の伝統芸能(歌舞伎)を鑑賞させるイベント」への一部補助に審議が集中して「日韓学生セミナー」の件は何の問題もなく認められた。かつてナドリ倶楽部の会員が主宰していたイベントを継ぐ形になっており、会員の10名近くが参加していた

うわさ 第70巻 第11号 通巻839号
コピー及び・無断転載を禁ず
1部210円 送料68円 1年3,300円 送料共前納
発行所 雑誌 うわさ社 編集兼発行人 寺田隆弘
福岡市博多区冷泉町1番8号 ☎092(271)0089番
〒812-0039 印刷・製本 株式会社 川島弘文社
zasshi-uwasasha@nth.biglobe.ne.jp
http://www5a.biglobe.ne.jp/~uwasa/
振替01710-9-16664番
☆☆☆☆本誌取り扱い書店☆☆☆☆
福岡金文堂本店・アニマート 那珂川店・アニマート 春日店他/
新天町積文館 / 電気ビル創文館 / ブックスやまだ(中洲交番前) / にぎわいプラザ